

令和7年度古戦場公園再整備事業の予定について

1 事業目的

国指定史跡である長久手古戦場の本質的価値を高め、史実における「小牧・長久手の戦いにおける長久手合戦」の重要性を発信するため、古戦場公園にガイダンス施設を新設する。また、「古戦場公園再整備基本計画」において、市内に点在する国指定史跡を含めた史跡地を巡ることにより、本市でしか体験できない「長久手合戦の距離感や臨場感」を実際に体験できるフィールドミュージアム計画が位置づけられている。新設するガイダンス施設は、フィールドミュージアムの出発点となり、国指定史跡長久手古戦場の歴史的な価値を市内外に向けて周知するとともに、観光面でも国指定史跡地を活用していくため、古戦場公園再整備事業を実施する。

2 令和7年度事業

(1) 史跡長久手古戦場ガイダンス施設建設工事

ア 建築概要

構造規模：R C造一部木造 地上1階地下1階建て

建築面積：約300m²

延床面積：約800m²

主要室等：展示室（常設・企画・収蔵）、収蔵庫、ミュージアムシアター、事務室、フリースペース、ライブラリースペース、ガイダンスホール、屋外広場等

イ 進捗状況

令和6年度は、構造体の建設、内装工事、電気工事及び機械設備工事を実施している。令和7年度は、昇降機設備工事及び外構工事を行う。

(2) 史跡長久手古戦場ガイダンス施設建設工事監理業務

上記建築工事に伴い、監理業務を行う。



↑ 外観（東側）イメージパース



↑ 外観（西側）イメージパース

(3) 史跡長久手古戦場ガイダンス展示制作業務

ア 展示関連エリア面積：約 320 m²

内 容：令和元年度（令和4年度修正）に作成した展示実施設計を基に、造作・什器製作、ケース製作、模型・複製製作、映像ソフト・情報コンテンツ制作、グラフィック制作、展示映像・音響設備の設置等を行う。

イ 進捗状況

令和6年度は、デジタルコンテンツのシナリオ作成、CG作成、ロケハン等を実施している。令和7年度は、造作・什器製作、ケース製作、模型・複製製作、映像ソフト・情報コンテンツ制作、展示映像・音響設備等の設置を行い、令和8年中の開館を目指す。



↑内観（地下1階）イメージパース

(4) 史跡地内園路等整備工事

令和6年度から令和7年度にかけて、史跡長久手古戦場ガイダンス施設周辺の駐車場及び史跡地内の園路等の整備工事を行う。